

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

移動平均法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定率法によっている。

なお、耐用年数及び残存価格については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、簡便法により期末における退職金の協会都合要支給額の100%を計上している。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	50,000,000	0	150,000,000
定期預金	220,000,000	20,000,000	0	240,000,000
小計	320,000,000	70,000,000	0	390,000,000
特定資産				
学生野球調査積立金	62,500,000	0	62,500,000	0
退職給付引当資産	35,000,000	0	0	35,000,000
小計	97,500,000	0	62,500,000	35,000,000
合計	417,500,000	70,000,000	62,500,000	425,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有 価 証 券	150,000,000	—	150,000,000	—
定 期 預 金	240,000,000	—	240,000,000	—
小 計	390,000,000	—	390,000,000	—
特定資産				
退職給付引当資産	35,000,000	—	35,000,000	—
小 計	97,500,000	—	97,500,000	—
合 計	425,000,000	—	425,000,000	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,855,500	1,855,500	0
電話加入権	51,500	51,500	0
合 計	1,907,000	1,907,000	0

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第 311 回利付国債	100,000,000	100,000,000	0
三菱UFJ証券	50,000,000	49,066,500	□933,500
合 計	150,000,000	149,066,500	□933,500

6 その他

公益財団法人移行に伴い、平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの期間での決算となっている。